

教えて!ホノルル

ハワイアンキルト

【秘書広報課姉妹都市担当】

全てを手作業で行い、長い日数をかけて製作されるハワイアンキルト。
作り手の思いが込められた、「アロハの心」を感じることができるハワイアンキルトを紹介します。

ハワイアンキルトの発祥は、1820年代にキリスト教宣教師の妻たちが、ハワイにキルトを持ち込んだことだといわれています。ハワイの植物をモチーフとして取り入れることで、現在の形へと進化しました。



◀王冠とカヒリ
(王族の羽根飾り)
木綿、平織り
1886年
制作：Mary Sophia Rice
撮影：Shuzo Uemoto

伝統的なスタイルは、2色で無地の生地が使用され、シンメトリー（上下左右対称）のデザインと、モチーフの周りの波紋のようなキルトラインが特徴です。現在でも、母から嫁ぐ娘へ、祖母から孫への大切な贈り物として伝わっています。



ガーデンアイランド ▶
(モキハナ柄)
木綿、平織り
1904年
撮影：Shuzo Uemoto

9月10日(日)～11月5日(日)に、ホノルル美術館所蔵ハワイアンキルト展～Across The Ocean～が美術館で開催されます。本物のヴィンテージ・ハワイアンキルトをご覧いただける貴重な機会です。ぜひお越しください。